

令和6年度 第4回 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会議事録

日時 令和7年3月24日（月） 14:00～15:00

会場 青少年科学館 自然学習棟2階 学習室

出席者（敬称略）

- （1）委員 （公募市民）南條邦子（副部長）、間渕秀和
（学識経験者）佐藤武宏、山岡均、栗芝正臣
（教育職員）菅原隆宏
- （2）事務局 久保館長、弘田、高中、清水、渡邊、内藤、齋藤、上田（生田緑地共同事業体）
- （3）傍聴者 0人

1 開会（渡邊）※事務局による進行

事務局より開会告知、資料確認、会議の成立、傍聴者受入（定員5名）、記録（録音及び筆記）、作成及び会議記録公開について周知（傍聴者なし）。

2 館長挨拶（久保館長）

本日は、御多用の中、第4回専門部会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日よりいよいよ春のシーズンに入りましたが、現在、全国都市緑化かわさきフェアの春バージョンを、先日の3月22日の土曜日から4月13日の日曜日まで開催中でございまして、この週末はお天気も大変よく、かなりの人出でにぎわいました。今日は平日ということもあって、まあ通常の平日ではありますが。

いよいよ春が本格的に訪れると、枳形山からみる景色も桜色一色になり、いずれ菖蒲園ではカエルの大合唱が始まるのかなとワクワクしております。

4月からのこの1年間、当館の事業を様々に御確認いただきましたこと、誠にありがとうございます。

本日は、1年間の当館の事業について、この専門部会において様々に評価を頂戴することとなります。どうか、忌憚のない御意見をいただき、私どもといたしましては、真摯に受け止めつつ、来年度に向けまして、それらを踏まえながら、的確に事業を遂行してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

このあと、各事業について担当から説明させていただきますが、今年度も様々な事業を展開してまいりました。

自然分野では、5月の地層の日を記念して、5月19日の2時間限定ではありますが、地層の剥ぎ取り標本を急遽展示して、初めて当館をおとずれるような方々もいらっやっ、多くの方々に御観覧いただきました。

天文分野では、夏のはくちょう座の観察では報道発表するなどしてかなり規模を大きく実施して、地図データを駆使して一目で状況が分かるようにまとめたり、夏休みには宮前市民館の大ホールの舞台上でプラネタリウムを投影したり、秋には、川崎市役所本庁舎でオーロラ写真展を開催したり、冬には150年前の金星太陽面通過を発端としてメキシコデーを開催したり、溝の口の商業施設ノクティの屋上で星空観望会を開催したり、また現在、川崎市役所本庁舎でプラネタリウムの舞台裏という企画展を5月12日まで開催しております。

科学教育分野では、夏休みに川崎市環境局と連携して、かわさきの環境100年という企画展を開催

しました。

いずれも初めて、または今までよりもパワーアップした内容となっており、今年度第1回の専門部会でも述べましたが、知名度が低いという当館の課題に対し、確証はございませんが、一定程度の効果を上げることができたのかなと思っております。

これらの取組の実施は職員の努力の賜物でございます。一方、私どもとしては、職員の過大な負荷とならないよう、今後も様々な博物館事業のバランスを考慮しながら、適切な事業の運営に努めてまいります。

これからも「市民とあゆむ宙と緑の科学館」として、第2期運営基本計画に基づく博物館事業を実施してまいりたいと思いますので、本日はよろしく願いいたします。

渡邊 それでは議事につきまして、南條副部会長に進行をお願いいたします。

3 議題 ※議事進行（南條副部会長）

令和6年度事業評価について

南條副部会長 これより議事に入ります。「令和6年度事業報告」についてですが、項目毎に事務局から説明を受け、各委員から御意見をいただき、必要に応じてコメントの追加、修正等を行い、総合評価を確定します。それでは事務局から説明をお願いします。

渡邊 まず始めに、年度末のお忙しい中、短期間での作業ありがとうございました。資料1を使用して御説明いたします。

1枚おめくりいただきまして、当館の令和6年度の実績・自己評価、今後の課題、その右はこれを受けての委員の皆様の評価と専門部会としての公開版のイメージをまとめたものになっております。委員の皆様の評価は1枚目の裏に表としてまとめ、専門部会としての総合評価の案も記載しております。この後、各事業の評価を決め、「各委員評価」の項目を削除し、ホームページで公表いたします。令和6年度の実績・自己評価欄にあります、対応する年報のページ数については削除します。

南條副部会長 事務局から「1 収集保存事業 （1）自然」の説明をお願いします。

1 収集保存事業

（1）自然

高中 収集保存事業、自然分野では、①の収蔵資料の収集・分類・整理（台帳化）では、資料収集として剥製及び標本化を行い、哺乳類10点、鳥類9点、昆虫900点（うち446点は職員採集）、植物646点、計1,565点を新規に作製いたしました。また、電子台帳への登録について、昆虫標本は315点を登録し、すべて既存資料であり、植物標本は646点を登録し、すべて新規作製資料でございます。

なお、昆虫標本の登録点数が昨年度より減少している理由は、昨年度は新規に作製した数年分の標本の同定が済み、まとめて登録できたこと、また既存資料も同定済みの資料であったことで登録がスムーズにできたためであり、一方で今年度に登録した既存資料は未同定の資料が多く、登録作業に時間を要したためでございます。

②の GBIF 等国内外機関への資料情報の提供では、地球規模生物多様性情報機構（GBIF）およびサイエンスミュージアムネット（S-Net）に植物の標本データ1,150点を提供いたしま

した。

今後の課題としては、未整理資料を計画的に整理・登録するとともに、継続的に新たな資料を作成する必要がある。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、標本作製や資料整理が着実に進められていること、昨年度よりも数は減ったが、継続的に標本作製し、電子台帳へ登録していること、忙しい業務と並行して多くの収集をしていることについて、評価いただいております。

評価につきましては、委員の皆様のご意見を踏まえ、Bといたしました。

(2) 天文

弘田 ①のプラネタリウム番組のアーカイブ化につきましては、毎月実施しているプラネタリウム一般向け番組の制作時に収集した文献資料、画像等の資料を番組素材、番組スクリプト、等の関連データとともにアーカイブとして保存し、今後の番組制作等に活かせるようにいたしました。

②の天文資料の整理保存につきましては、天文学史に関する資料の整理保管を継続して行い、富田資料の目録の公開に向けて分類整理を進めております。また、太陽観測記録のデジタルアーカイブの作成に向けて、黒点スケッチ約400点のデジタル化を実施しました。

今後の課題につきましては、委員の皆様からも御指摘がありましたとおり公開や有効活用について検討する必要があります。

評価につきましては、委員の皆様のご意見を踏まえBといたしました。

(3) 科学

清水 科学実験についての資料収集と保存・管理では、サイエンス教室、サイエンスワークショップなどの、館内科学系イベントで提供された計画書や報告書の管理とともに、市民団体が普及イベントを計画する際の参考資料として共有できるように、令和6年度サイエンスワークショップ実践事例集として冊子データにまとめました。また、館内展示を踏まえた画像及び動画データを収集しました。

今後の課題としては、実践事例集のさらなる活用に向けて、市民団体への周知に取り組む必要があります。

評価コメントの中で、動画などの公開を進めてほしいとの御意見をいただいておりますが、こちらに関しましては展示の部分に関わって、科学展示コーナーやたま区 deAR で公開をしております、引き続き様々な媒体を通じての公開に向けて取り組んでまいります。

評価につきましては委員の皆様のご意見を踏まえ、Bといたしました。

収集保存事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副会長 ただいま収集保存事業について事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。ないようでしたら評価に進みます。

収集保存事業の評価については各分野「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) 収集保存事業の評価については各分野「B」とします。

2 展示事業

(1) 自然

高中 展示事業、自然分野では、①の生田緑地の自然情報の発信では、生田緑地の自然について、受付横「緑地案内ボードを活用し、日常的に観察・撮影した写真等のリアルタイムな情報発信を2週に1回の頻度で定期的に更新したほか、SNSを活用し、自然情報や展示紹介など39回更新いたしました。

②の新たな自然史資料による常設展示の更新では、生田緑地の動植物を季節ごとに展示する「生田緑地の四季だより」の写真をキャプションとともに4回更新し、計32点を展示いたしました。また、自然分野サイエンスワークショップの題材等をピックアップ展示にて実物資料とともに展示し、適宜更新いたしました。

また、年度当初の計画にはありませんが、5月10日の地質の日を記念して、昨年度、川崎市地域文化財に決定された「オシ沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本」の7点のうち1点を、5月19日に限定公開いたしました。

今後の課題としては、自然情報を継続的に発信する必要や、展示物の更新にむけて、更新案を検討し、展示物を作製する必要がございます。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、記念日を活用し地域文化財の限定公開したこと、自然情報の展示や発信が継続的に行われていること、実物資料とともに展示されていることについて、評価をいただいております。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

(2) 天文

弘田 ①のプラネタリウム一般投影につきましては、毎月テーマを変えた一般向け番組を企画、制作し、投影を実施いたしました。また市制100周年を記念するフュージョン新番組を制作し3月22日から公開しました。

②の子ども向け投影については、土日、祝日等に子ども向け投影を実施しております。また、オーロラをテーマとした新番組を制作し、来年度から一般公開予定です。

③の星空ゆうゆう散歩はベテラン解説員である元職員が講師を務め、8月を除く毎月実施し、多くの来場者を集めました。

④乳幼児向けの「ベビー&キッズアワー」は月1～2回実施しました。

⑤学習投影は小中学校等の団体利用を受入れ、各学年や利用する学校の希望に応じて実施しました。

⑥一般団体の貸切利用「星空自由空間」では、専門学校の交流行事、プラネタリウムでの音楽ライブ、聴覚障害者向けの字幕投影の3件の利用があり、利用者の希望に合わせた投影を実施しました。

⑦天文関連展示といたしまして、10月にオーロラ写真パネル展を実施しました。また、出張企画展として市役所本庁舎にて10月にオーロラ写真パネル展と3月にプラネタリウムに関する展示を行いました。

今後はプラネタリウムのさらなる活用が課題です。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえAといたしました。

(3) 科学

清水 市民協働の科学工作展示では、教育普及イベントにおいて制作した工作物の原理や作り方を紹介する常設展示コーナーの内容1点と、科学館で活躍している科学市民団体を紹介するパネル等を更新しました。展示手法として多摩区と連携したARコンテンツでは、工作物の動画を1点追加掲出いたしました。令和6年4月から令和7年1月までで62名82回の来館者利用がありました。来館者が科学工作の紹介を視聴できるデジタルサイネージの動画を1つ編集し追加更新しました。

今後も科学の楽しさへの興味を喚起することが課題です。

評価コメントの中で、ARコンテンツ利用者が減少していることに対して御意見をいただきました。こちらにつきましては、昨年まで1カ所だったARコンテンツを読み取るQRコードの掲示場所を今年から複数に増やして利用状況が改善するか状況を確認したいと考えているところでございます。また、たま区deAR全体の利用状況についての情報も収集し、当館として今後の方向性を探っていきたいと思っております。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

展示事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副部長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。ないようでしたら評価に進みます。

展示事業の評価については自然分野「B」天文分野「A」科学分野「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) 展示事業の評価については自然分野「B」天文分野「A」科学分野「B」とします。

3 調査研究事業

(1) 自然

高中 調査研究事業、自然分野では、①の市域の生物調査では、自然系市民団体への委託事業として、生田緑地を中心に川崎市域に生息する動植物種の確認調査を実施し、これまでの採集状況を踏まえながら採集が可能な動植物については採集し、それらに適した方法により標本作製いたしました。また継続的なモニタリングが可能な分類群については、モニタリング調査を継続いたしました。

②の市民の興味関心を高める調査研究の実施では、生田緑地の外来生物調査として、ムネアカハラビロカマキリとハラビロカマキリの生息状況を継続調査し、調査結果をまとめ、紀要第35号で公表いたします。

今後の課題としては、今後、調査結果について市民への適正な還元方法を検討する必要があります。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、継続した調査研究が行われていること、紀要で報告したことについて、評価をいただいております。また、原稿のチェック体制、成果の公開方法の検討、市民への還元について御指摘いただいております。原稿のチェック体制については、館職員複数名でチェックすることで、校正精度の向上を図って参ります。また成果の公開方法について

は、今年度は紀要での公表や、調査結果についてのパネルを作製し展示いたしました。今後も市民へ還元できるよう、展示等を工夫して参ります。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

(2) 天文

弘田 ①川崎市域の星の見え方調査として、夏季と冬季にデジカメを使った市民参加による市内での星の見え方を調査しました。夏はより多くの市民が関心を持ち、参加できるように、ひとつの星座で1～5等星が確認できるはくちょう座の肉眼での観察を実施し、報道発表等により広報の充実を図ることで昨年の約2倍となる80件のデータが集まり、地図情報システムの活用によって詳細な解析を行いました。肉眼での星空調査の結果につきましては紀要に公表いたします。

②太陽表面の観測を継続して行い、観測データの解析を行いました。また、紫金山アトラス彗星や土星食、惑星の観測等を行いました。

今後は、より多くの市民が参画できる調査手法と告知が課題です。委員から御指摘のありましたイベントの配信につきましては、可能な範囲で実施できるよう検討してまいります。また、春と秋の星の見え方調査について御意見いただいておりますが、まずは夏と冬に実施している調査により多くの市民の参加を促し、浸透を図っていきたいと考えております。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえBといたしました。

(3) 科学

清水 ①市民の興味関心を高める調査研究の実施では、科学館の学習支援として実施している地層解説及び地層貸出キットを元に、学校現場での授業活用や科学館活用をねらい、かわさきGIGAスクール構想で活用されている端末に対応したデジタル教材を作成するため、地層に関する書籍等を参考にしながら内容を精査しサイトを作成しました。

学校現場の要望を聞き取りながらデジタル教材を改良・開発していくことが今後の課題です。

評価コメントの中で、学校現場の要望をくみ取る方策の具現化について御意見をいただきました。こちらにつきましては、小中学校の理科に関わる総会・常任委員会での先生方との直接の意見収集ができたかと考えております。また、GIGA端末のサイトでも、アンケート形式で先生方からの御意見をいただけるようなフォームを準備できたと考えております。

また、GIGA端末用のサイトが見当たらないとの御指摘をいただきました。今回作成いたしましたサイトにつきましては、授業をする際に活用してもらうことを想定し、GIGA端末の仕様に基づき本市の教員向けに作成いたしました。より多くの教員の目に触れるよう、GIGA端末内の教育委員会事務局のサイトを通して公開しているため、一般に広く公開しているものではありません。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

調査研究事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副部長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。ないようでしたら評価に進みます。

調査研究事業の評価については各分野「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) 調査研究事業の評価については各分野「B」とします。

4 教育普及事業

(1) 自然

高中 教育普及事業、自然分野では、①の生田緑地観察会では、生田緑地を会場に、植物、昆虫、地層などをテーマに参加者の興味関心を持つきっかけとなる観察会を、新型コロナウイルスの影響で事前申込にしておりましたが、来館者が気軽に参加できるよう当日受付の形式で開催いたしました。

②の自然分野の教室やワークショップでは、来館者の動植物や自然環境に対する興味関心を深められるよう、座学と観察会で学ぶ教室や、より深く自然を理解するためのおしごと体験、博物館の役割を知らせるバックヤードツアー等を開催し、このほか自然分野のサイエンスワークショップを開催いたしました。

③の自然サポーター研修会では、自然や動植物に関心のある市民を対象に、川崎市域で自然調査や観察会を行う自然サポーター候補を募集し、養成する研修会を開催し、研修会から9名の修了生を輩出いたしました。

④の自然観察(地層・林)では、地層観察では、生田緑地で地層の成り立ちについて学習するプログラムを実施いたしました。また、教員の観察コースの事前下見・相談への対応、教員の事前学習、生田緑地での観察が困難な学校向けに地層の写真や地層サンプルをまとめた学習キットの貸出しを行い、市内学校7校の利用がございました。林の観察では、生田緑地の樹林における季節ごとの動植物の観察を理科の学習の一環として実施いたしました。

⑤総合的な学習の時間支援では、生田緑地の自然等をテーマに、課題解決学習の支援を実施いたしました。

今後の課題としては、野外活動において、夏季では熱中症対策を踏まえ対応する必要があるがございます。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、観察会は普段紹介できないものを見せることができる貴重な機会であること、多様なイベントを実施していること、限られた時間とマンパワーの中で、多くの利用者に対して教育普及活動を実施していることについて、評価をいただいております。

また、今後の課題について、課題は熱中症対策なのかと御指摘をいただいております。昨今の夏場の暑さにより、夏季での野外活動が難しいところですが、熱中症対策も含め、野外活動の開催時期の検討や、様々な季節に応じてイベントを開催できるよう運営方法を工夫しながら進めて参ります。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえ、Aといたしました。

(2) 天文

弘田 ①平日昼間にアストロテラスを公開し、モニタ上での太陽観察を実施しました。また月2回程度日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽の他、金星や1等星など昼間に見える明るい天体の観察会を開催し(2月までに)9回実施し参加者は438人でした。

②夜間の天体観察会は、昨年度までの事前申し込みから当日自由参加に変更して「アストロテラス夜間一般公開」として月に1回開催しました。曇天等による中止があり、今年度は(2月までに)6回の実施、参加者は860人でした。

③紫金山アトラス彗星の特別観望会を10月に開催し、53人が参加しました。

④小学生を対象に年間を通じた連続講座「プラネタリウムワークショップ」を開催し、プラネタリウムの操作体験や番組制作を通じて天文学への知識を深め、関心を高めてきました。3月23日に参加者の家族等の他、一般来館者に向けた発表会を実施しました。

⑤プラネタリウム発表会は、日本女子大学附属高等学校と連携した事業として、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組制作、投影発表会を実施しました。

⑥天文講演会はJAXAの研究員を講師に招き、太陽についてお話しいただきました。参加者数は65人でした。

⑦天文サポーター研修会として、「アストロテラス夜間公開」等を協働で実施する天文サポーターの資質向上のため定期的に研修を実施し、学習会、天体観測の実習などを行った他、「アストロテラス夜間公開」参加者への配布資料の作成を毎月行い、天体観察会を充実させました。

また、新規にサポーターを育成する研修会を実施し10人が参加し、新年度から新たに天文サポーターとして活動に参加します。

⑧プラネタリウムを活用したイベント投影として、東京交響楽団とのコラボレーションによるプラネタリウムコンサートと、ドーム映像を活用したオーロラ上映会を開催し、多くの方に御来場いただきました。アンケートからはいずれも高い満足度が得られました。

また、仙台市天文台制作の震災特別番組の上映会を実施しました。

⑨かわさき星空ウォッチングでは、学校等の依頼を受けてアストロカーによる出張観望会を年間で20回実施し、延べ約1,800人（2月現在）が参加しました。

⑩天文分野のサイエンス教室は、日時計の工作や夜間の天体観察、プラネタリウムバックヤードツアーなどを年間で8回開催し、延べ147人が参加しました。

今後はSNS等を活用したオンラインの教育普及事業の充実が課題です。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえAといたしました。

（3）科学

清水 ①ワクワクドキドキ玉手箱・出前科学実験教室では、実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を活用した出前科学実験教室を科学市民団体との協働にて実施しました。今年度は40回実施し、計1,384人の利用がありました。

②サイエンス教室、③サイエンスワークショップでは、小学生から大人まで、様々な年代を対象とした科学分野のサイエンス教室は（2月までに）27回開催し384人が、サイエンスワークショップは58回開催し3,803人が参加しました。多くの科学講座を市民団体と協働で運営しました。

④第19回かわさきサイエンスチャレンジでは、8月3日に出席し、科学館出展のワークショップに計440名の小学生と保護者が利用しました。

⑤科学サポーター研修会では、館内イベントであるサイエンス教室やワークショップを実践の場とした研修会を開催しました。令和6年度は研修会から8名の修了生を輩出することができました。

⑥子ども創意くふう教室では、小中学生を対象とした連続講座として12月から1月にかけての5回シリーズで開催し、延べ35人が参加しました。

⑦出前教室につきましては、川崎天文同好会の依頼を受け「科学館とプラネタリウム」という

テーマで教室を実施いたしました。32名の参加がありました。

⑧学校支援のゆうゆう広場科学実験教室では、川崎市適応指導教室との連携による科学実験教室を年間24回開催しました。

⑨かわさき GIGA スクール構想での学校支援として、授業活用や科学館利用をねらい地層観察会の事前事後や地層貸出キット利用時に活用できる教員向けのサイトを GIGA 端末上に公開しました。

今後は、市民協働の教育普及事業を継続できるよう、サポーターの育成に取り組み、より多くの世代の参加を促す必要があります。

評価コメントの中で、参加者やサポーターからのフィードバックを得る方策の構築をとの御意見をいただきました。現在、サイエンス教室や子ども創意くふう教室、出前科学実験教室等では、教室の最後にアンケートを実施することで参加者からのフィードバックを得ております。今後、サポーター研修会でもどのような内容でフィードバックを得るか検討していきたいと思います。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえ、Aといたしました。

(4) 出版事業

高中 ①の青少年科学館「紀要」等出版物の刊行では、川崎市青少年科学館紀要第35号への投稿について HP 等で周知し、投稿原稿を著者と連絡調整しながら内容確認と編集を行い、科学館ホームページに掲載いたしました。

今後の課題として、デジタルデータのみの公表となったため、発行の際、市民の活用につながるよう周知する必要があります。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、校正・確認体制、一般への周知方法について御指摘をいただいております。原稿の校正・確認体制については、館職員複数名で確認することで、校正精度の向上を図って参ります。一般への周知方法については、今年度より紀要は科学館ホームページでデジタルデータのみの公表となりますが、公表したタイミングで科学館ホームページや SNS で情報発信をすることで、周知を図って参ります。また、電子データの利用状況につきましては、指定管理者にアクセス数を確認してまいります。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

教育普及事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副部長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。

間瀬委員 紀要というのはあまりなじみがなくて、私もここに出入りするようになってからあるのを知ったのですが、一般の方には馴染みがないと思いますが、今回ホームページで公表するとのことですが、どこに行くと見ることができるのでしょうか。図書館などにあるのでしょうか。

高中 市内の図書館には印刷している状態のものをお送りしています。

間瀬委員 どこに配架されているのですか。

高中 図書館法に基づいて配架されているのではないかと思います。図書館によっては学会誌等のコーナーがあるのではないかと。研究にまつわる書籍のコーナーに配架されるのでは

ないかと思います。

間瀬委員 一般の方にはなかなか目が届かないことがあると思うので周知だけいいかなと思います。

高中 ありがとうございます。

佐藤委員 今の質問に関連してですが、こちらの館に常設されているとか、一般の方が御覧になれるようなところはあるのでしょうか。

高中 手に取ってみることができるような場所は館にはございません。

南條副部長 他に御意見ございますか。ないようでしたら評価に進みます。

教育普及事業の評価については自然・天文・科学の分野は「A」、出版事業は「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) 教育普及事業の評価については自然・天文・科学の分野は「A」、出版事業は「B」とします。

5 ネットワーク事業

(1) 展示・企画ネットワーク

清水 ①の環境局企画展では、川崎市市制100周年記念事業として川崎市環境局地域環境共創課と連携して、市が所蔵している写真や映像などからかわさきの環境歴史を振り返り、未来に向けた行動を考えるきっかけをつくる企画展「かわさきの環境・100年」を7月27日から8月25日まで開催し、7,190人が来場しました。市民が川崎市の環境の歴史を再認識し、環境の大切さを考える契機となりました。

②のFIELD MUSEUM展では、専修大学ネットワーク情報学部コンテンツデザインプログラムを専攻する学生と協働し、「FIELD MUSEUM展：親子で楽しく学べるカガクおもちゃのデザイン展」を開催しました。学生主体による13のワークショップを屋内外で展開し、当日は約250名の利用がありました。

③メキシコデーは、メキシコ大使館と連携し、金星太陽面通過観測150周年を記念するイベントとしてメキシコデーを開催しました。メキシコ文化体験ワークショップには3回で90人が参加し、プラネタリウム特別投影には200人が参加しました。

今後の課題としては、様々な主体と連携する中で、事業の魅力を広げ、さらに利用者増となる広報等、周知につながる取組が必要と考えています。

評価コメントの中で、環境局企画展に関して市制100周年を契機とした企画であることを明記し自己評価をしてほしいとの御意見をいただくことをふまえ、事業評価シートに追記しております。

また、SNSの活用につきましては、後ほど管理事業の広報の部分で回答させていただきます。評価につきましては委員の皆様の御意見をふまえ、Bといたしました。

(2) 調査研究・収集保存ネットワーク

高中 ①の川崎市域の生物調査では、「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協働で行ったこれまでの調査の結果をまとめ、「川崎市より初めて記録されたコケシノブ科植物と生育地のシダ植物相」、及び「川崎市生田緑地及びその周辺の鳥類調査」を紀要第35号で公表いたします。また、昨年度作製したカメムシ目とバッタ目の標本について、同定内容に誤りがないか、相模原市

立博物館の昆虫を専門とする学芸員に確認を依頼し、資料の整理を進めました。

今後の課題としては、他の博物館等と連携し、それぞれが持つ専門性を活かした事業の推進が必要でございます。

評価コメントの中で、委員の皆様からは、他の博物館、団体との連携が進められていること、野外調査の報告や分布記録等の発表は早いことも重要であること、についての評価をいただいております。

評価につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

(3) 学習支援ネットワーク

清水 ①職場体験・職業インタビューでは市内中学校15校64名を受け入れました。参加した生徒による常設展示のポップ作りなど、来館者へ発信する体験学習に取り組みました。

②中学校連合文化祭開催では、理科部門の北部会場として協力しました。プラネタリウム鑑賞、研究発表・表彰式への会場協力をを行い、当日は114名の生徒・教員が参加しました。

③教員・職員等研修の受入れでは、川崎市総合教育センター共催での臨地研修会や横浜国立大学との連携で現職教員によるCST養成講座を実施しました。また、2週間の博物館実習を実施し、7名の大学生を受け入れました。

今後の課題としては、職場体験での生徒の活動について、より「仕事体験」としての面を強めていくことが必要であると考えています。

評価につきましては委員の皆様御意見を踏まえ、Bといたしました。

(4) 地域振興・生田緑地内ネットワーク

弘田 ①図書館、区役所等との共催事業といたしまして、多摩図書館と連携したプラネタリウムでのお話し会を実施し、154人が参加しました。多摩区民祭では市民団体による特別投影を実施いたしました。また、宮前市民館及び菅生分館と連携した移動式プラネタリウムを使ったイベントを実施しました。

②大学、地域団体等との共催事業として、川崎天文同好会共催の天文講演会を国立天文台等から講師を招いて開催し、29人が参加しました。また、溝口の商業施設ノクティを会場とした観望会を1月に実施しました。

③生田緑地ミュージアムとして9月にお月見フェスタを実施し、お月見プラネタリウムとして、中秋の名月について子どもから大人まで観覧いただける番組を投影しました。

④日本民家園との連携事業として7月に七夕体験を実施し、科学館ではプラネタリウムでの子ども向け七夕投影、短冊の配布を行い、民家園では七夕飾りつけ体験とミニ笹配布を実施しました。また、両施設学芸職員による民家園でのお月見トーク、夜間のお月見プラネタリウムを実施しました。

⑤各館の広報担当者による定期的な広報会議において情報共有を図り、当館及び生田緑地全体の魅力向上及び情報発信を行いました。

回遊性向上については、子どもたちの夏休みに合わせ、生田緑地内施設3館、藤子・F・不二雄ミュージアム、多摩区行政サービスコーナーと連携しスタンプラリーを実施し、科学館ではスタンプの台紙を1,300枚、3か所のスタンプでもらえるクリアファイルを270枚配布しました。スタンプラリー全体の参加者は、13,159名、3か所達成者は3,793名となっております。

ります。

藤子・F・不二雄ミュージアムとスタンプラリー以外での連携について御意見いただいておりますが、藤子・F・不二雄ミュージアムを含め、生田緑地内の他施設との様々な連携を検討してまいります。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえ、Bといたしました。

ネットワーク事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副会長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。

山岡委員 (1)の展示・企画ネットワークと(4)の地域振興・生田緑地内ネットワークについてですが、A評価が半数以上とあるが、B評価、C評価もあり総合的にB評価としていると思うが、A評価が多いのでA評価でもよい印象ではあります。

久保館長 御評価いただきありがとうございます。評価方法につきましては、採点によって平均をとらせていただいています。ありがたい御意見ですが、評価方法を鑑みながらB評価としております。

南條副会長 SNS等の活用で告知について長年お話をしているなかで、3年目でなかなか好転していない状況で厳しい評価としましたが、みなさんAということでございましたらAで結構です。

南條副会長 他にないようでしたら評価に進みます。

事業の評価については、展示・企画ネットワークと地域振興・生田緑地内ネットワークの2つを「A」、調査研究・収集保存ネットワーク、学習支援ネットワークを「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) ネットワーク事業の評価については展示・企画ネットワークと地域振興・生田緑地内ネットワークを「A」、調査研究・収集保存ネットワーク、学習支援ネットワークを「B」といたします。

6 管理運営

(1) 管理運営

渡邊 ①管理業務ですが、今年度は第3期指定管理の2年目にあたります。管理運営・広報業務の円滑な実施のため、市の管理・学芸部門と連携して業務の運営を行いました。また、緑化フェア開催に際しては緑化フェア推進室等と連携し運営を行いました。

②危機管理ですが、市職員、指定管理者、ショップ及びカフェの関係者が参加し、9月に実際に館内の通報設備の使用や、自然学習棟の消火栓から放水を行うなどの通報・消火訓練、3月7日には防火扉を使用した消火・避難訓練を行いました。また、有資格者による消防設備点検のほか、市職員も館内防災点検表により毎月点検・報告を適切に行っています。

③進行管理ですが、事業計画、中間報告、事業視察、それからこれは本日ですが、事業報告等のため年4回専門部会を開催し、当館事業の進行管理を適切に行いました。また、その際、これまでの指導・助言等を踏まえた上で、資料等において的確に報告・情報提供を行うことで事業報告等を円滑に行いました。

今後の課題といたしましては、開館から12年が経ち、老朽化が目立ち始めているため、指定管理者と連携して修繕等を行っていく必要があります。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえBといたしました。

(2) 科学館の魅力を高めるサービス展開

渡邊 ①広報計画ですが教育委員会の紙媒体の学校配布廃止方針に伴い、科学館だよりの学校配布も中止せざるを得なくなりましたが、利用者にわかりやすいホームページを目指し改修を行う予定であり、XやFacebook等による情報発信を積極的に行い、Xのフォロワー数が400人増加しました。また、毎月の学芸職員のラジオ番組出演のほか、新聞、雑誌、テレビ、ラジオの取材に積極的に協力し、幅広く広報活動を行いました。

ホームページではコロナ禍に引き続き、家庭でも科学館の魅力に触れてもらえるよう、「おうちで楽しむデジタル科学館」のコンテンツを追加しながら公開しています。

また、昨年度から継続して自然観察テラスに、近くを通る人にここが科学館であることがわかるよう横断幕やタペストリーを設置し科学館の存在をアピールしました。夏季には東口ビジターセンターの前と科学館前に「プラネタリウム冷えてます」の幟を掲げ、プラネタリウムの観覧を促しました。

②魅力を高めるサービス展開につきましては、利用者からの御意見等に迅速に対応しつつ、適切な案内及び接遇を行うほか、学芸部門の職員によるレファレンス対応などにより、館全体の魅力向上を図りました。

③多様な利用者への配慮につきましては、バリアフリー関連設備・用具、表示の保全や、研修等による人的支援の充実を図るとともに、英語・中国語・韓国語の館内案内を用意し外国人来館者への利便性向上を図りました。また、プラネタリウムでは、ヒアリングループ受信機の貸出を行いました。

今後の課題といたしましては、より効果的な広報の方法を模索し、当館の魅力を積極的に発信していくことだと考えております。

御意見をいただきましたInstagramやYouTubeをはじめとしたタッチポイントのチャンネル増加につきましては、Instagramについて、時間がかかってしまいましたが、運営方法について館内で協議し、現在、市の広報担当部署と調整を行っております。Youtubeにつきましては、館内の体制を踏まえると現状ではなかなか困難であると考えております。

評価につきましては委員の皆様の御意見を踏まえBといたしました。

管理運営事業は、以上となります。

【質疑応答】

南條副会長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。ないようでしたら評価に進みます。

管理運営事業の評価については各分野「B」としてよろしいでしょうか。

(特になし) 管理運営事業の評価については各分野「B」とします。

南條副会長 全体を通してなにかございますか。ないようでしたら以上で事業報告を終わります。続いて、「4 報告事項」に移ります。(1)「第3回専門部会(視察)実施報告」につ

いて、事務局から説明をお願いします。

4 報告事項

(1) 第3回専門部会（視察）実施報告について

渡邊 12月に行いました、各委員の事業視察の結果について資料2として一覧にまとめております。今年度は6名の委員の皆様普段の科学館の事業を御覧いただき、貴重な御意見をいただくことができました。ありがとうございます。他の委員の報告として、後程御覧いただければと思います。

【質疑応答】

南條副部会長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いします。
(特になし)

(2) その他

南條副部会長 委員の皆様や事務局から何かございますか。(特になし)

南條副部会長 その他、よろしいでしょうか。ないようでしたら、議事の進行を事務局にお返しします。委員の皆様、御協力ありがとうございました。

5 閉会

渡邊 南條副部会長、議事の進行ありがとうございました。委員の皆さまも御助言ありがとうございました。以上を持ちまして、第4回専門部会を閉会します。本日はありがとうございました。